北海道東川高等学校
令和４年度　学校だより　開校記念日特別号
令和４年４月28日発行

校訓
美風慣行
自律創造

東川高　創立74周年

卒業生総数　4,235名

5月2日は 本校の**開校記念日**です。分校として設立されてから創立74周年、独立高として71周年。ちょっと母校の歴史探訪に出かけてみましょう。

◆東川高クイズ◆

半分以上正解で、あなたは東川高通！？

Q１　本校は農業高校として出発した。　Yes か No か。
Q２　創立当時、東川まで電気軌道の電車が走っていた。　Yes か No か。
Q３　ハーフマラソン大会。最初は天人峡までの強歩遠足だった。　Yes か No か。
Q４　校章の図案に「東川」「高」と、もう一つベースになっている文字は何？
Q５　生徒会誌『混交林』と学校祭。歴史が古いのはどっち？
Q６　インターンシップとヘルパー講座。先に始まったのはどっち？
Q７　現在ある部活動で、これまで全国大会に出場したことのある部活は？
Q８　「１年生側校舎」「２，３年生側校舎」「体育館」「格技場」。古い順番に並べよ。
Q９　ハーフマラソン、カルタ大会、学校祭。開催回数の多い順に並べよ。
Q10　校歌、校訓、校章。出来た順に並べよ。

以下は年表形式で、一見味気ないようですが、過去の一つ一つの出来事にじっくり思いを巡らし、今につながっていることを想像してみましょう！！！

定時制農業科、永山農業高の分校で出発

1948（昭和23）	11.15	北海道立永山農業高等学校東川分校設置認可
1949（昭和24）	２.17	東川中学校で**開校**　＊**定時制課程農業科**１学級
	２.23	第１回入学式（34名）
1950（昭和25）	９.８	分校対抗野球大会優勝（永山・美瑛・和寒・愛別・東川）
	11.18	独立校舎完工
1951（昭和26）	４.１	北海道東川高等学校設置認可（**独立**）
	６.８	**校章**制定《「米」＋「東川」＋「高」の字》
1952（昭和27）	１.19	生徒会誌『混交林』発行
1953（昭和28）	３.９	第１回卒業式（15名）
1957（昭和32）	10.２	新校舎竣工（先代木造校舎）
1958（昭和33）	４.１	**定時制普通科**設置認可（農業科募集停止）
	12.24	校友歌制定（現在の**校歌**）
1961（昭和36）	10.25	体育館竣工（先代体育館）

全日制高校へ、２間口校へ

1972（昭和47）	12.31	旭川電気軌道東川線（電車）廃止
		（昭和２年から45年間営業）
1974（昭和49）	４.１	**全日制課程普通科**１学級設置認可
	４.９	全日制１期生45名入学
		（定時制課程募集停止）
1975（昭和50）	４.９	**２学級に**（90名入学）
1977（昭和52）	２.28	旧校舎大改修　校舎増築（現在の**１年生側校舎**）完工
		（１年生教室はことし42歳！）

かつての　東川駅

道立高校へ　校舎現在の姿へ

1978（昭和53）１．１	**道立**移管（それまでは町立）
1978（昭和53）９.11	創立30周年記念式典　記念誌刊行
1980（昭和55）６.19	第１回全校強歩遠足（現ハーフマラソン大会の前身。天人峡まで）
1982（昭和57）５．６	格技場竣工
1983（昭和58）２.19	第１回カルタ大会
1984（昭和59）７.24	**校訓**制定（美風慣行・自律創造）
1985（昭和60）９．７	豪雨の中、初のねぷた行列
1988（昭和63）12.10	校舎改築完工（現在の**２，３年生側校舎　体育館**）
	（２，３年教室と体育館は、今年度33年目）
1989（昭和64）１．７	昭和天皇崩御　翌日より平成元年となる
1989（平成元）11.11	創立40周年記念式典　記念誌刊行
1992（平成４）７.17	学校祭９月開催から７月開催へ
1997（平成９）６.12	夏季球技大会→スポーツフェスティバル
1998（平成10）10.24	創立50周年記念式典　記念誌刊行
1999（平成11）９．６	ホームヘルパー３級講座開講式
	（平成21～居宅介護従事者３級　平成25～ガイドヘルパー養成研修）
2003（平成15）９．２	インターンシップ開始
2008（平成20）11.16	創立60周年記念式典　記念誌刊行
2018（平成30）11.17	創立70周年記念式典　記念誌刊行

◆校章の図案は、「米」の上に「東川」「高」を重ねたもの

●伝統ある行事　～今年度で何回？

生徒会誌『混交林』　75号
学校祭　55回
マラソン大会　42回
（第38回は地震、第40，41回はコロナのため中止）
カルタ大会　41回
そして今年度の卒業式は・・・第71回（現３年生は東川高校71期生となります）

●過去に存在した部活動

全国出場　＝　陸上競技部　山岳部
文化系　＝　文芸部　珠算部　家庭部　演劇部　合唱同好会　等
体育系　＝　軟式野球部　柔道部　卓球部　サッカー部　等

●学校祭「ねぷた行列」はいつから？

「学校祭で弘前ねぷたを実施するため、教職員の有志が積み立てし、実際の祭りを視察に行った。百聞は一見にしかず。和紙、ろう、染料のことが大いに参考になった」

1985（昭和60）～在職の先生の回顧録（50周年記念誌より）

以上、創立30周年記念誌、創立40周年記念誌、創立50周年記念誌、創立60周年記念誌等を参考にしました。みなさんも、東川高校の歴史をつなぎ、あたらしい足跡を残すべく、残りの高校生活を存分に充実させていってください。

★東川町から絶大な支援★

現在、道立高校でありながら、**東川町から毎年多大な援助**をいただいている東川高校です（たとえば、資格試験の受験料補助や、福祉講座の講師、施設見学のバス代、ラトビア・カナダ・台湾・ロシア派遣、そして、Ｈ25からは英語指導助手の先生常駐等々）。高校統廃合が旭川市内や近郊でもすすんでいます。東川高校は皆さんにとっては「母校」です。いつまでも母校が残り、発展するよう卒業しても見守っていてほしいと思います。

◆ひがしかわ散歩◆

表面下段に掲載した写真は、往事の東川駅の写真です。電車が廃止されてから50年。駅舎は残っていませんが、東川駅の跡には立派な石碑が建てられています。当時のホームもそのまま残っています。